科学の甲子園東京都大会　出場までの道のり　～前編～

７月某日、本校生物室に数人の生徒が集まりました。集まった理由は、11 月１日に行われる科学の甲子園東京都大会(Tokyo サイエンスフェア)に出場するチームを結成するためでした。

科学の甲子園東京都大会とは、年に一度 11 月に開催される大会で各校６人１チームとなりチームで協力して筆記試験（物理・化学・生物・地学・数学・情報）と実技試験に取り組み、競い合う大会です。田園調布高校は、今回が初出場です。クラスも部活動も様々な２年生６名が集まり、出場することになりました。



Tokyo サイエンスフェアポスター


７月某日、生徒が生物室に集合

大会に出場するメンバーが決定し、いよいよ本格的に準備を開始したいところでしたが、学校行事や部活動の中心となる２年生、修学旅行や定期考査もあり、なかなか６名が集まって準備、練習をすることができませんでした。それでも、出場メンバーは、大会を見据えて、各自、日々の学習に励んでくれたようです。

そして、大会の開催が近づいてきた 10 月某日、同じく科学の甲子園東京都大会に出場する近隣の都立雪谷高校に出場メンバーで訪問しました。目的は、雪谷高校の物理実験室をお借りして、実技試験に向けた試作をそれぞれの学校で行うことでした。両校ともチームで協力しながら様々な工夫をして試行錯誤していました。最後に大会での両校の健闘を誓い合いました。


試作を行う田園調布高校チーム


集合写真(左：田園調布高校　右：雪谷高校)

そこから、大会までは、ほとんど毎日、放課後に残って大会に向けた準備を行いました。そして、あっという間に時は過ぎ、いよいよ大会当日の朝を迎えました。

～後編に続く～